

室内履きの使用をお勧めします

「外を歩く靴は具合が良いけれど、室内でスリッパで過ごす和不調になって・・・」という方、いらっしゃいませんか。

足の痛みや膝、腰の不具合の続く方、股関節疾患の方、リウマチの方、脚長差のある方にぜひお勧めしたいのが、補正や足底板で対応した室内履きです。

特に立ち仕事で動き回る方や家事に忙しく過ごされる主婦の方の場合、外を歩く靴だけでなく、長時間過ごすオフィスや家庭での履物を変えて頂くと、足の痛みや腰痛、疲れがなくなった・・・と喜んで頂ける場合がたいへん多いのです。

ただ、最近ではフローリングの部屋も増えたとはいえ、まだ

まだ日本の住環境では畳の部屋への出入りなどの度に脱ぎ履きすることが多いのが実状です。そのような場合、これまででは、ドイツ製の布のスリッパに足底板を装着して頂くことが多かったのですが、布製のために耐久性、足へのサポート性で問題のあることもあり、日本の生活に対応できる室内用の履物には私たちも苦労しておりました。

そこで、スリッパ同様に脱ぎ履きが簡単で、足へ良くフィットして安定性を保つことができる部屋履きの開発を試みていましたが、このほど、メーカーのご好意でサンダル形式のオリジナル製品が完成しました。

これで、用途に応じて適切な室内履きをお勧めできるようになりました。

A



ブラック
アイボリー
ネイビー

¥23,100(税込)

B



ブラック
ダーク・ブラウン

¥25,200(税込)

Aは、以前から取り扱っているドイツ製のサンダルです。

室内で「履きっぱなし」で着脱の必要のない方には、ぜひこれを。

2本ベルトで足にしっかり固定するため、足首もホールドされ、顕著な効果が期待できます。

内張りはソフトなクッションと布になっているので、長時間履いても締め付け感がなく、ピタッと足にくっついて階段の昇り降りも安心です。

Bは、今回開発した新製品です。

使用中どうしても脱ぎ履きをしなければならないという方にお勧めです。

物を持っての畳の部屋への移動や、介助中に脱着しなければならないという高齢者や病気のご家族を抱えた方に、また、介護職の方のワーク・サンダルなどにも適しています。

いずれも、足底板の装着、靴底の加工(補高など)が可能です。

また、足の変形やむくみのある方にはベルトの長さのお直しなどで対応できます。

室内履きを使って頂いている方の例をご紹介します。

股関節疾患の方が楽に過ごせるように

変形性股関節症のため3cmの脚長差がおありの方で、4年前より外用の靴を何足かお作りして具合良く履いて頂いておりましたが、長い間部屋履きとして使っていた他店で購入のドイツ製のサンダルが傷んだので、昨年、部屋履きをお作りしました。

Aのサンダルに足底板を装着し、脚長の短い側の底に高さを付け、さらに外側へ強く荷重がかかるので、

それを緩和するための「フレアー」という加工も加えました。

「生活時間のもっとも長い室内で楽に過ごせるようになったのが何より・・・」と、毎日愛用して下さっています。

この方のように、股関節疾患で痛みの強い方や、脚長差のある方は、外用と併せて室内用も使用して頂くと、股関節や腰の痛みも緩和され、たいへん楽になれるようです。